

# 技術・家庭科シラバス 中学3年

## 1. 学習の到達目標と評価の観点

	単位数	学科・学年・学級	使用教科書と補助教材
(科目) <b>技術・家庭科</b>	1 単位	第3 学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術・家庭 技術分野(開隆堂)</li> <li>・技術・家庭 家庭分野(開隆堂)</li> <li>・30 時間でマスターOffice2016 (実教出版)</li> <li>・3D マイホームデザイナー</li> </ul>
<b>学習の到達目標</b>	社会や生活にいかされている技術に関心を持ち、進んで情報の技術と関わり科学的な理解を深めつつ、情報活用の実践力を身につけ、情報社会に積極的に参画しようとする態度や好奇心を養い、モラルやマナーを学びよりよいコミュニケーションスキルを身につける。		
<b>評価の観点</b>	ものづくりやコンピュータ活用に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、技術の果たす役割について理解を深め、それらを社会のために適切に活用する能力を身につけようとしている。<主体性・多様性・協働性>		
	習得した知識・技能の中から情報の技術を評価し、改善及び修正についての方法を論理的に考えようとしている。<思考力・判断力・表現力>		
	よりよい生活や社会の構築に向けて、情報の技術の概念を理解しているとともに、それらに関わる技能を身につけている。<知識・技能>		

### 【点数化が難しい課題については、観点別評価とする。】

A : 「十分満足できる」 状況と判断されるもの . . . . . 100%

B : 「おおむね満足できる」 状況と判断されるもの . . . . . 80%

C : 「努力を要する」 状況と判断されるもの . . . . . 60%

D : 未提出, 未実施 . . . . . 0%

## 2. 学習計画及び評価方法等

月	単 元	学習のねらい	学習のポイント、使用教材等
4 月	D-1-4 情報セキュリティと情報モラル	○情報モラルの必要性と情報を収集・発信するときに注意することを知る。	・情報モラルの必要性と情報を発信する時の注意点について説明できる。
5 月		○情報社会で人権などの権利を尊重する必要性を考える。	・知的財産を保護する必要性と利用方法を説明できる。
6 月	D-1-1 生活や社会と情報の技術 ・Excel 入門・活用 ・PowerPoint の使い方	○表計算ソフトの特徴と利用方法を知る。 ○PowerPoint の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解する。	・Excel の使いやすさやわかりやすさに関する工夫を理解し、利用するための基本的なスキルを習得する ・PowerPoint を利用するための基本的なスキルを習得する。
9 月	B-1 住まいのはたらきとこちよさ	○住まいの基本的な役割について理解する。 ○日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ○住まいの空間の使い方について理解する。	・住まいはその地域の気候風土や人々の生活文化と密接な関係があり、培われてきたものであることを理解する。 ・様々な生活により、住まい方の工夫があることに気付くことができる。
10 月	B-2 安全な住まいで安全な暮らし	○家庭内の事故の種類と、その原因を知る。 ○災害に備えて、室内を安全に整備する必要と方法について理解する。	・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫できる。
11 月	B-3 持続可能な住生活	○持続可能な社会の実現に向けてさまざまな住まいと住まい方の工夫があることを知る。	・＜3D マイホームデザイナー＞を使用し将来自分が住みたいと思う家をデザインし発表する。
1 月	C-1 家庭生活と消費	○物資とサービス・消費生活の仕組みがわかる。	・「消費する」ことを正しく定義することができる。
	C-2 購入・支払いと生活情報	○収支のバランスを図り、計画的に金銭管理する必要がある。	・売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解することができる。
2 月	C-3 消費者被害と消費者の自立	○いろいろな購入方法と支払い方法があることを知り、それぞれの利点と問題点を理解する。 ○消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。	・消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者となれる。 ・消費者被害に遭わないための知識を習得し、消費者を支える仕組みについても理解している。
	C-4 持続可能な社会	○消費行動が社会に与える影響について理解する。	・消費者の行動が社会や環境に与える影響について理解し、実践できる。 ・環境に配慮したライフスタ

			イルを選択し、実践できる。
評価の観点及び内容			評価方法（具体例）
生活情報活用の実践力を身につけ、社会に積極的に参画し、それがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。＜主体性・多様性・協働性＞			授業課題進捗状況
よりよい生活や社会の構築に向けて、実践する力を身につけた上で、新しいアイデアを生み出し未来を切り開いていこうとしている。＜思考力・判断力・表現力＞			作成課題の提出
適切かつ誠実に日常の生活を工夫し創造しようとする実践的な態度、あふれる生活情報を客観的に分析し判断する力が身についている。＜知識・技能＞			定期考査 小テスト

**【観点別評価】**

製作課題提出の場合

- A：習得した技能をより多く効果的に使用し丁寧に表現できている。
- B：到達目標を達成している。
- C：最低限身につける技能での表現にとどまっている。
- D：未提出